

野田委員長(右)・荒井教育長(左)より手渡された提言書を手にする小峰町長



「鳩山町における学校給食の新たなあり方についての提言書」を提出

町教育委員会が立ち上げた学校給食の新たなあり方調査検討委員会により、平成24年3月から検討してきた「鳩山町における学校給食の新たなあり方についての提言書」が、2月25日に荒井教育長と野田委員長から小峰町長へ手渡されました。

検討委員会は、町立学校給食センターの老朽化などの問題に伴い、より良い学校給食施設について協議してきました。提言内容を踏まえ、町と町教育委員会では今後の施設整備方針を検討していきます。



「はーとんカフェ今宿」の外観▼



▲開所した「はーとんカフェ今宿」で談笑する方々

気軽に立ち寄れる「縁側」を目指して「はーとんカフェ今宿」がオープン

高齢者が地域で安心して暮らすための居場所、認知症等の相談の場、見守りネットワークの拠点などを目指した「はーとんカフェ今宿」が2月21日、今宿地内でオープンし、和やかな雰囲気の中、開所日には多くの方が集まりました。

カフェに訪れた方やボランティアスタッフの方々からは、「昔の「縁側」でのおしゃべりが、今は少なくなったので、こういった気軽に立ち寄れる場所ができたのはうれしい」と笑顔で話していました。

笑うことで健康と地域づくりをニュータウンふくしプラザ1周年記念講演会

2月22日、町健康福祉課と社会福祉協議会主催により、町ふれあいセンターで「笑い与健康でつなぐ地域づくり～ニュータウンふくしプラザ1周年記念講演会」が開催され、会場は多くの方でにぎわいました。

講演会では、ボランティアの皆さんにより開設1年の歩みが報告されたほか、落語家の三笑亭夢之助師匠による「健康は笑いから」と題した講演が行われ、会話は脳のストレスを取るのに良いことなどを、笑いを交えてお話いただきました。



健康と笑いについて講演する夢之助師匠

桜の成長に感謝と絆の思いを込めて「感謝の木 福島のだれざくら」植樹式

町農村公園内で3月8日、「感謝の木 福島のだれざくら」植樹式が開催(町健康福祉課主催)され、「鳩山町東日本大震災避難者の会」(町内仮設住宅に避難された方などで組織)から、これまでの支援に感謝する形で寄贈された福島県産のだれ桜の苗木を、多くの方が見守るなか植樹しました。

寄贈された苗木2本は、支援団体が丁寧に手作りした記念プレートとともに、町農村公園と今宿特定区画整理地内緑地に植樹されました。



「感謝の木 福島のだれざくら」の植樹の様子(町農村公園内)

鳩山町東日本大震災避難者の会 代表 鈴木 文子さんからのメッセージ



震災発生から3年が経ち、各々が苦渋の選択の中で前に進み始めましたが、震災直後からの物心両面のご支援に深く感謝いたします。その気持ちを忘れないよう、皆さまとの絆がますます強くなるよう、そして復興を祈念したシンボルとして、避難者一同より福島のだれ桜を寄贈させていただきました。新たな交流の場になれば幸いです。

参加者の声 ◆支援できたことは少ないので複雑な気持ちですが、桜が大きくなるのを見届けたいし、将来、寄贈した方々と一緒に花見をしたいです。この桜を見ることで被災地を思い、今後も支援活動をしていきたいです。(支援団体の方々)
◆ここに福島のだれ桜があることで、将来その理由と併せて、昔を偲ぶようになると思います。桜の成長がとても楽しみです。(参加者の方)
◆この時期にここに来る楽しみができました。みんな、またここで集まりたいです。(避難者の方)



賞状を手にする鳩山町チームの皆さん

鳩山町チームが7位に入賞 第30回 比企郡駅伝競走大会

3月2日、比企郡内から24チームが参加した「第30回比企郡駅伝競走大会」が開催され、鳩山町からも1チームが出場し、総合7位に入る大健闘を見せました。

選手は、小川町役場をスタート・ゴールとして、ときがわ町、嵐山町にわたる7区間29.8kmのコースを全力で疾走しました。

92人が思い出を胸に学び舎を巣立つ 第63回鳩山中学校卒業式

3月15日、鳩山中学校で卒業式が行われ、3年生92人が思い出の詰まった学び舎から巣立ちました。

式では、奥泉校長から「誠実に生き、学ぶ目標と感謝の気持ちを胸に、自信と誇りを持って次のステージに進んでほしい」とエールが送られました。そして、卒業生を代表して、保積利哉さんが、情感を込めて3年間の思い出を振り返るとともに、恩師や保護者への感謝の意と今後の決意を述べると、会場は大きな拍手に包まれました。



万感の思いを胸に合唱する卒業生



入西赤沼線の通り初めの様子

鳩山町と坂戸市を結ぶ「入西赤沼線」が開通

3月16日、鳩山町と坂戸市を結ぶ都市計画道路「入西赤沼線」が開通しました。この「入西赤沼線」は、越辺川に架かる越辺川大橋と両市町の取付道路を含む全長1,210mの道路で、鳩山町と坂戸市が共同で整備を進めてきました。

この道路の開通により、交通事故の減少や県道の渋滞緩和が図られるとともに、昨年の8月末に坂戸市に隣接地区に開設した「坂戸西スマートIC」へのアクセスもより便利となり、町の活性化にも貢献するものと期待されます。